



岩手医科大学附属病院 高度看護研修センター

緩和ケア認定看護師教育課程 どんなところ？

受験を考えている方へ先輩からのメッセージ

緩和ケア
認定看護師
研修生募集

平成26年6月開講

緩和ケアの充実を目指した
東北で唯一の教育課程です

岩手医科大学附属病院
高度看護研修センター

岩手医科大学

◎開講期間：平成26年6月～平成27年1月(8ヶ月) ◎募集人員：20名
◎報告交付期間：平成25年9月2日(月)～平成25年9月27日(金)
◎試験実施日：平成25年10月11日(金) ◎試験内容：専門科目I-Ⅱ、小論文、面接
◎入試について詳しくは、岩手医科大学附属病院高度看護研修センターホームページに掲載いたします。
(<http://www.iwate-med.ac.jp/hospital/ast/>)

お問い合わせ先：岩手医科大学附属病院 高度看護研修センター TEL.019-651-5111(内線3133)

看護師として、人間として成長したいという想いがある方に、この教育課程をお勧めしたいです
(加登 沙織 さん)



- ④ 私は、緩和ケアを専門的に勉強したいと思う一方、認定看護師という資格を持って、周囲のスタッフに働きかける役割は自分には向いていないという想いが強くありました。しかし上司から、「スタッフに対して関わったことは、いずれ患者さんに返っていくのよ」とアドバイスいただき、目の前の患者さんに緩和ケアを提供するためには、スタッフに対する関わりも重要であることを認識し、リーダーシップや指導、相談についても基礎から学ぼうと決意し教育課程に入学しました。
- ④ 想像以上に大変なのだろうという気持ちで臨んだせいか、教育課程の8ヶ月間はとても楽しく充実していました。8か月間という時間的余裕があったことと、それぞれの分野における第一人者である方々から講義を受けることができたからだと思います。患者さんや家族との関わりを振り返り、自分自身とじっくり向き合うことで、これまでのモヤモヤした気持ちが何だったのかを明確にすることができました。また、自分の心のメンテナンスの大切さや、自分と他者との違いを認めることの重要性を学んだことで、期待以上の自分自身の成長があったと感じます。
- ④ 緩和ケア認定看護師となった今、様々な学びや経験が自信となり、共に働くスタッフから相談されることがうれしく感じます。そんな自分自身の変化に気づくことができました。受験に迷いがあるのは当然だと思いますが、看護師として、人間として成長したいという想いがある方に、この教育課程をお勧めしたいです。

研修終了後、違う自分に出会えます！ (計良 千香子 さん)



- ④ 以前から緩和ケアに関心を持っていた私。たくさんのがん患者さんと出会い、ケアをしていく中でもっと専門的な知識を学びたいと思うようになっていました。しかし、その一歩がなかなか踏み出せずにいた時、とある研修会で私の同級生が緩和ケア認定看護師として活躍している姿を見て、私もやってみようと思ったのがきっかけでした。
- ④ 教育課程に入学してからは、不安の毎日でした。レポートの課題は山積みでくじけそうになることが何度となくありました。そんな時、**仲間が存在が私にとって大きな支えとなっていました。**壁にぶつかった時も、研修センターの先生方が親身になって相談にのってくださり自分なりに解決することも出来ました。
- ④ 私にとってこの8か月の研修期間は、苦しくもあり楽しくもあった期間でした。研修終了後、違う自分に出会えます。そして、どんなことにもへこたれないたくましい自分になってますよ。
- ④ 今、認定看護師1年生としてスタートラインに立ったばかりですが、何かあった時この研修期間のことを思い出し、自分には仲間がいると思いつつ頑張りようと思います。

是非！岩手医科大学附属病院

高度看護研修センターをお勧めします

(小林 洋子さん)



- ④ 緩和ケア病棟に勤務して、患者さん、ご家族の苦痛を目の当たりにする中で、自分自身の力不足を感じるが増え専門的な知識・技術を学びたいと考えるようになり、認定看護師を目指そうと思いました。
- ④ 地元、岩手で緩和ケアを牽引する岩手医科大学附属病院で開講された、高度看護研修センターで学びたいと、こちらの教育過程を選びました。入学した頃を思い返してみると、ついて行けるだろうか最後までやりとげられるだろうか、とにかく不安しかなかったように思います。研修中は新しい知識や技術を学ぶとともに、自分自身のこれまでの看護を振り返ること、自己の傾向について考えさせられることが多く、落ち込むことや自信をなくすこともありました。そんな時は、常に研修性の考えを尊重し、大きな愛を持って導いてくれる研修センターの先生方と、多くの学びの場を与えてくれる素晴らしい講師の先生方、そして同じ志を持った仲間が、大きな支えになってくれました。辛さを分かろうと寄り添ってくれる存在がこんなにも心強いのかと、身を持って体験した研修期間でした。学習環境も、図書館の利用時間も24時迄、講義室ではインターネットの使用が可能で、試験前には講義室を開放してくれるので、集中して学ぶことができます。生活環境についても、寮がすぐ近くにあり県外からの研修生も安心して過ごしていましたので、遠方の皆さんにもお勧めです。
- ④ 辛いことの多い研修ではありますが、ここで学べたことそして同期のみんなと研修センターの先生方、講師の先生方と出会えたことはとても幸せであったと心から感じています。教育課程で得た多くの方々との繋がりが、今の自分の支えにもなっています。研修先はとても重要になると思います。どこで学ぶか悩まれる方に、是非！岩手医科大学附属病院高度看護研修センターをお勧めします。

教育課程を終えてみるとこの看護研修センターに通えたことが、
自分や周りの人生をととても豊かにしてくれました。
(城前 基子 さん)



- ⑤ 初めまして。今、このメッセージをみている方のなかには、緩和ケアに興味を持ちつつも受験となると不安を持っている方がいらっしゃると思います。私も以前はそうでした。家庭のことや職場のこと、年齢的なこと、金銭面、内容についていけるのか・・・などなど、考え始めると不安なことや困難に感じるものがいっぱいありました。そして、もう少ししてから考えよう、数年後に行こうかな？と考えてしまうものです。でも、何事も「**思い立った時がその時、そのタイミング**」なのだと思います。どうしようと悩んでいる方がいたら、ぜひ今、このチャンスを逃さないでください。今が、あなたの学びの機会なのです。
- ⑤ 岩手医科大学附属病院 高度看護研修センターでは、8ヶ月をかけて様々な面から緩和ケアについて学ぶことができます。そして、何より得難い貴重な経験をさせてもらえます。**緩和ケアで有名な講師の先生方をはじめ、研修センターの先生方などから、知識と知恵・ちょっとしたコツ・心身の作り方まで学ぶことができます。**さらに、緩和ケアだけではなく自分を見つめ直し、人生を考える。**教育課程を終えてみるとこの看護研修センターに通えたことが、自分や周りの人生をととても豊かにしてくれました。**
- ⑤ 一步を踏み出す勇気を持てば、あなたの目指すところは手に届きます。その一步を踏み出してみてください。

研修中は、楽な道のりではありませんが、それ以上に学べる喜びを感じることができる貴重で幸せな8ヶ月間でした。
(徳田 恵 さん)



- ④ 私が勤務していた病棟の患者は、入院が長期化し様々な不安を訴えていましたが、私はどのように対応すればよいのか迷うことがありました。また、化学療法の副作用の口内炎や疼痛に対して、知識が不十分なことから自信を持って判断ができていませんでした。終末期の患者や家族に対しては、もっと苦痛なく過ごすことができるための援助はないか、患者と家族の話をもっと傾聴すべきだったのではないかなど後悔する事例が多くありました。死への恐怖から苛立ちが増強した患者への対応に苦慮し悩むこともありました。
- ④ そのようなときに、上司から緩和ケア認定看護師教育課程を勧めて頂きました。認定看護師なんて自分には荷が重すぎると思いましたが、何事にもタイミングが重要であり、勧めて頂いた今がやるときなのだと考えて受講することを決めました。
- ④ **研修中は、楽な道のりではありませんが、それ以上に学べることの喜びを感じることができる貴重で幸せな8ヶ月間でした。**講師の先生方は緩和ケアを牽引されている素晴らしい講師の方ばかりで、笑いあり、涙ありの忘れられない講義ばかりでした。講義では今までの自分の看護を振り返ることができ、そして新たな発見の連続でした。レポートやテストではできない自分を実感しましたが、そのようなときは教員の先生方が必ずサポートして良い方向に導いてくれました。そして、同じ志をもつ仲間と出会えたことが財産であり、いつでも支え合って辛いことも乗り越えることができました。研修を終えた今、多くのことを学ぶことができ、研修前の迷いや不安はありません。本当にこの研修に参加して良かったと実感しています。
- ④ 受験を考えているみなさん、迷うことはありません。**岩手医科大学附属病院高度看護研修センターには、講師の先生、教員の先生、事務の方など素晴らしいサポート体制が整っています。ぜひ、この素晴らしい環境で学ぶことをお勧めします。**

研修生となって、尊敬できる先生や自分の
思いを語ることができる仲間と出会いました！
(Yさん)



- ① 私は、2014年度修了生です。受験をする前、私自身もとても迷いがありました。本当に自分が向いているのだろうか、やっていけるだろうか、と不安がいつも心の片隅にありました。
- ② 研修生となり、尊敬できる先生や、自分の想いを語ることが出来る仲間と出会うことで、その不安も乗り越えることが出来ました。また、自然も豊かで、美味しい食べ物もあり、良い環境で学ぶことが出来たと思います。
- ③ **岩手で学ぶことができ、本当に良かったです。**みなさんにとっても、そう思える場所となると思いますので、ここで学ぶことをお勧めいたします。



講義に来て下さる講師陣も、学会や教科書でよく名前を見る先生たちで、緩和ケアの歴史から最新の知識を教えてください。
(北出 弘美 さん)



- ⑤ 私が受験したきっかけは、上司に勧められたからでした。以前から、認定看護師に興味はありましたが、私の住んでいる北海道の教育課程は、数年前より休講しており、それ以外でどこの教育課程が良いかと上司が情報収集をしてくれた結果、岩手を勧めてくれました。道外での生活は初めてだったので、看護師寮を貸していただけただけなのは、とても助かりました。講義室まで徒歩1分は、大げさではなく事実です。寮を使用している他の研修生の人たちとの交流も深まり、かけがえのない仲間を得ることが出来ました。
- ⑤ 講義に来て下さる講師陣も、学会や教科書でよく名前を見る先生たちで、緩和ケアの歴史から最新の知識を教えてください。教員の先生たちも、優しく時に厳しく指導・相談にのってくれます。自分の苦手な部分と向き合わなければならないことも多く、楽しいことばかりではありませんが、ここに来なければ経験できなかったことや学びが沢山あり、かけがえのない貴重な8ヶ月が待っています。研修を終えた後も、認定試験までのフォローや、その後の活動の相談にもものってくれる優しい教員の先生たちが待っています。ぜひ、「岩手医科大学附属病院 高度看護研修センター 緩和ケア認定看護師教育課程」の扉を叩いてみて下さい。



「つまずいた時は、仲間に助けられ、
仲間がつまずいたら手を差し伸べて」
(木村 倫子 さん)



受験を考えている方は、沢山の事で悩んでいることかと思えます。本当に、緩和ケアの認定看護師に向いているのか、お金がかかる、研修過程を修了できるのか・・・などなど、私も受験する時は悩みました。しかし、教育過程を修了した今、受験して良かったと心から思えます。

- ◎ **来て下さる講師の素晴らしさ**: 著書で目にする名前の先生方が、講師として来てくれます。
- ◎ **実習施設場所が豊富**: 出来る限り希望の施設で実習が出来ます。
- ◎ **研修センター内の図書が豊富**: なかなか手を出せないような高い図書も豊富です。センター内の図書を見てから、自分で買いたい本を購入でき、お金の無駄を省けました。
- ◎ **講義室から、徒歩約5分以内の寮に入寮できる**: 通学時間の短縮ができ、レポートや勉強に時間を費やすことができます。生活費の負担も抑えられます。
- ◎ **徒歩圏内に、ストレスを発散出来る場所がある**: 美味しいご飯屋さんや有名店が、沢山あります。自分へのご褒美も大切です。
- ◎ **親身になって、話を聴いてくれる教員**: 8カ月間の中で悩み、つまずき、もう逃げ出したいと思うことがあります。(私はそうでした。) 研修センターに居る先生方や事務の方が快く迎えてくれ、時間をかけ悩みを聴いてくれ、向かうべき目標へ導いてくれます！！
- ◎ **教育課程で出会う仲間との絆**: 同じ志を持った仲間だからこそ分かり合える、悲しみ・辛さ・喜び・楽しさ。

「つまずいた時は、仲間に助けられ、仲間がつまずいたら手を差し伸べて。」過ごした8カ月間。長いようで短い期間でしたが、固い団結力と絆で、研修を修了した今も仲間に助けられています。8カ月間、自分の力を信じて、認定看護師の資格を取得する第一歩を踏み出してみませんか？